

科目番号	科目名	配当年次	授業形態	単位	担当教員
R103	教育課程論	1年	講義	2	遠藤忠
<b>授業概要</b> 教育課程論は、学校教育の目標を達成するために学ぶ内容・経験をどのように選択し、どのような構造をもって組織化するかを論ずることである。 教育目的観・学力観と教育課程の関係から始まり、日本・諸外国の教育課程の歴史、現代日本の教育課程基準の重要事項、教科書との関係、単元構成、学習指導案の作成、教育課程の評価とカリキュラム開発等について学び、最後に、教育課程の今日的課題について確認する。					
<b>到達目標(学習の成果)</b> 教育課程の編成、実施、評価・改善は学校にとっても教師一人一人にとっても最も重要な課題である。教育課程がなぜ必要なのかを認識し、その編成にあたって求められる基礎的・基本的知識の習得を目指す。					
授業計画					
回	表題	学修内容			
1	1.教育課程とは何か	○教育課程とは何か。 ○教育課程は誰がつくるのか。 ○教育の計画を作るには何が必要か。			
2	2.教育課程の意義、	○教育観・学力観と教育課程。現代社会においてどのような教育目的が望ましいか検討し、さらに、自己の視点を生かしつつ教育基本法の教育の目的・目標、学校教育法の義務教育も目標について検討する。 ○教育課程の構成要件。教育目的、学習指導、生徒指導、教育領域。			
3	3.教育課程の比較	現代の欧米諸国の教育課程と日本の教育課程。			
4	4.現代日本の教育課程①	主に学習指導要領総則編に基づき、「学校教育における教育課程編成の原則」について理解する。			
5	4.現代日本の教育課程②	「道徳の時間」と道徳教育について			
6	4.現代日本の教育課程③	「総合的な学習の時間」のねらいと内容について			
7	4.現代日本の教育課程④	「特別活動」の目標と内容について			
8	教育課程の歴史①	西欧の教育課程の歴史、日本の教育課程の歩み。			
9	教育課程の歴史②	日本の教育課程の歴史①明治初期:学制期			
10	教育課程の歴史③	日本の教育課程の歴史②明治中期:小学校令期～、改正小学校令期。			
11	教育課程の歴史④	日本の教育課程の歴史③明治後期:教科書の国定化まで			
12	教育課程の歴史⑤	日本の教育課程の歴史④小学校教育の変化・教室の人間関係			
13	教育課程の歴史⑥	日本の教育課程の歴史⑤昭和;国民学校令・中等学校令、新しい教育領域の誕生。			
14	教育課程の歴史⑦	日本の教育課程の歴史⑥学習指導要領;試案から告示、現代まで。			
15	潜在的カリキュラムと教育課程の今日的課題	教育のみえない副作用-教育を支えるもの、歪めるもの。教育課程の評価について。			

準備学修(授業外の自己学修)

- 1.課された自習課題に取り組み授業に臨むこと。
- 2.授業時に取り上げた専門用語等については、参考書及びその他の専門書を通して理解を深めておくこと。
- 3.授業中に積極的に質問等ができるように準備しておくこと。

成績評価の方法・基準(%表記)

レポート(小レポートを含む) 70%、受講態度 30%で総合的に評価する。

教科書

文部科学省『中学校学習指導要領解説・総則編』137 円

参考書等

柴田義松編『教育課程』学文社、1500 円

履修上の注意・学修支援

毎時の講義テーマを確認し、問題意識を持って受講すること。

質問等訊きたいことがあれば、授業担当まで早めに相談すること(endo@kyowa-u.ac.jp)。